

(川崎)

通過客を呼び込むために 豊富な品ぞろえにこだわり







平成15年4月、北上大橋の開通と同時にオーブ ンした道の駅かわさきふれあいドンと館。年間 500万台以上の国道284号通過者に川崎の農産物 をアピールしたいと旧川崎村が9年から道の駅 整備について本格検討。13年12月には運営主体の 「ドンと市かわさき協同組合」が設立されました。

川崎町内はもちろん、両磐地方の主な農産加工 品が並ぶ豊富な品ぞろえが自慢。冬場もコマツナ、 ホウレンソウなど葉物類、ピーマンやナスなど生 鮮野菜が途切れないほか、切り花、リンゴ、イチゴ などが並びます。タラの芽、干し柿、乾燥タケノコ など一工夫した品々も。加工品ではがんづき、お こわ、餅、菓子、パン、漬け物、味噌など、同じ品目 でも複数の品が並び、好みの味を見つけ出す楽し さを味わうことができます。

同館おすすめは、これから旬を迎えるイチゴを 使ったいちご大福と、メタボ対策が期待できそう な新野菜のアイスプラント。抗脂肪肝ビタミンと 呼ばれるイノシノールが豊富に含まれ、葉と茎に 水滴状の結晶が付いているのが特徴で、生のまま サラダにして食べるとおいしいそうです。

●滞在型目指しグリーンツーリズムに取り組む

滞在型の道の駅を 目指し3月はイチゴ 狩り、5月はタケノ コ掘りと年4回のグ リーンツーリズム事 業に取り組んで5年



目。将来はサクランボ狩り、クリ拾いと体験メニ ューを増やそうと、将来を見据え苗木を植えてい ます。「生産者はお客さんの喜ぶ姿を見て感激す る。ただ買い物するだけでなく、滞在してもらう ことで川崎の良さを発信していきたい」と千葉勝 雄駅長は先を見据えます。

- ◆運営…ドンと市かわさき協 同組合(佐々木正義理事長、 組合員151人) 236-5170
- ◆場所…川崎町薄衣字法道地
- ◆営業時間…3月~11月は9: 00~19:00、12月~2月は9: 00~18:00 (定休日はなし)



宝くじの助成金で整備



明にソーラー 行動拠点の三巻 室根町の第9 ラーパネルとパの第3区自治会は ·を整備。

第3区自治会

「自然エネルギーを生かしたい」と小山勝三会長

ど音響設備と装束を整備。 楽はスピーカー、アンプな でいる一関地域の達古袋神 神楽の伝承と保存を行っ 達古袋神楽



「有効活用したい」と小岩恭一会長(前列右から二人目)



新しい装束を前に喜ぶ保存会の皆さん

装束のと伝

舞川鹿子躍保存会

100歳おめでとうございます

▶自宅で誕生日を迎えました。▶自宅で誕生日を迎えまし たなし



金野良藏さん(宮前町) 1月12日



小野寺キクミさん(真柴) 1月31日

「市長へひとこと」 • • • • • • • • •

2

2

氏名		年齢	歳	男・女	
職業	(学校名)			TEL.	